

# 海外移住者子弟研修生修了報告

～研修生が修了報告 空手、陶芸、三線などの成果を披露～

平成24年度読谷村海外移住者子弟研修生比嘉ラファエル広喜さん（ブラジル）の5ヶ月間にわたる研修の報告会が11月26日（月）に行われました。

報告会では、読谷村海外移住者子弟研修生受入事業協力を代表して会長の池原副村長の主催者挨拶から始まり、石嶺村長による修了証授与、激励がありました。また、広喜さんから研修先や関係者へ感謝の気持ちが述べられ、空手演武、三線演奏が披露されました。三線演奏のフィナーレには、報告会へ駆けつけてくれた他市町村の研修生がバックコーラスをつとめてくれました。

今年度の研修内容は日本語の授業をはじめ書道・墨絵、三線、陶芸、空手のほか、読谷中学校での移民学習講話を行い、FMよみたん、役場において職場研修も行いました。

また、夏には波平区において青年エイサーに参加し、各種のエイサーまつりへ出演しました。

## 研修風景 (研修期間 7/2～11/30)



### 研修報告 (抜粋)

私は6月の大きい台風のときに、沖縄にはじめて来ました。とても暑かったです。祖母からいつも沖縄はとてもきれいで、みんなたすけあっているときいていたので、私は沖縄に行くって勉強したいと思いました。そんなうにあいさつして、日本語、さんしんの勉強を始めました。さんしんは楽しいですが、歌いながら弾くことはとても難しかったです。とづげい、しよどう、すみえも習いました。

7月から9月まで父のつまれたなみひらの青年会でエイサーをし、しめだいことおあだいこをれんしゅうしました。なみひらのみなさん、いろいろ教えてくれてかんしゃします。とても楽しかったです。ブラジルに帰ってもわすれません。

ほかに、FMよみたんでインタビューするきかいをいただきました。みなさんとめちゃしく、そこでたくさん学びました。インタビューはとても緊張しましたが、楽しかったです。ありがとうございます。

10月から空手を習っています。とても楽しいですが、かたを覚えるのはたいへんです。

読谷中学校のみなさん、ありがとうございます。私は、みんなが学校の掃除をしているのを見たとき、とてもびっくりしました。学生が自分自身を大切にしていることに感動しました。

私に、この研修のきかいをあたえてくれた読谷村のみなさん、ありがとうございます。先祖の土地を踏み、見ることができてとてもうれしく思います。この経験を生涯忘れません。ブラジルでは、沖縄の人々の喜び、人々の心得、沖縄のすべてを次の世代に話していきたいと考えています。にふえーでーびるー！

